

大学の実力 大学 SELECTION

「凜として生きる」 現代女性の 生き抜く力を育む

創立以来132年の歴史を持つ福岡女学院は、キリスト教の教えをよりどころとして「新しい生き方を見つけることのできる」女性教育を実践してきた。来年度には創立150周年を目指す全学的プロジェクト「VISION150／2035」がスタート、今以上に豊かな教養と実践力、国際感覚を備えた女性育成に取り組む。



学長
高島 一路氏

時代の変化にあわせて カリキュラムの改訂続く

福岡女学院大学を貫くキーワードを挙げるとするなら「凜として生きる」だ。1885年にアメリカ人宣教師ジェニー・ギールが前身の「英和女学校」を開学して以来、幼稚園、中学・高校から大学院までを擁する総合学園に発展した現在まで変わることのない理念として福岡女学院全体の教育を支えている。

「明治初期、日本で女性の新しい生き方を模索し広めようとしたギールの精神は、変化の激しい今の時代にそのまま当てはまる。情報技術の進化、地方にも押し寄せるグローバル化など激動と変革の時代を生き抜く力を身に付けた現代女性を育てるのが、私たちの使命だ」と、高島一路学長は強調する。

毎朝ギール記念講堂で開かれるチャペル礼拝では、パイプオルガンの調べに耳を澄ませ、静かに自分を見つめる。また

学部・大学院情報

- ◎学部
人文学部、人間関係学部、国際キャリア学部
短期大学部
- ◎大学院
比較文化専攻、臨床心理学専攻、
発達教育学専攻

どの学部のカリキュラムにも「聖書概説」や「異文化へのアプローチ」など人間性を育む科目が盛り込まれ、キリスト教の愛の精神を基盤にした教育が行われている。学長は「卒業生は4万人に達するが、企業から、人間性が素晴らしい、という評価をいただいている。日頃の教育の成果だと確信している」と話している。

2018年にスタートする「VISION150／2035」は、創立150周年を迎える2035年を目指して「女性が生涯にわたって活躍できる」人材育成ビジョンを策定、まず2年間を基盤ステージとして教育・施設の充実を図る。具体的には国際キャリア学部定員を増員（構想中）するなどし、また人間関係学部心理学科においては、今秋にも施行される国家資格「公認心理師」育成に向けたカリキュラム改訂を行う。2019年度には、全学部・学科のカリキュラムを改訂、基盤教育科目群を導入する。短期大学部では英語教育の充実を図る。学長は「時代が何を求めているかを常に見据えて、改革を続けていく。本学の理念と教育内容を十分に知っていただき、生涯にわたって自分らしく生きることのできる学科を見いだしてほしい」と話している。

海外勤務者を招請し 臨場感あふれる 講義に触れる

国際キャリア学部は、2014年に人文学部英語学科を改組して開設された。国際英語学科と国際キャリア学科の2学科。開設以来定評のある英語教育に加えて、経済学、経営学にも力を入れ海外で活躍できる人材育成を図っている。若い世代は内向き志向が強く、海外でのビジネスチャンスはいくらでもあるのに人材が乏しい、という企業の声に応えたものだ。

国際英語学科は国際関係・交流、英語教育、英語学が専門領域。国際キャリア

学科は、国際キャリア(ビジネス)、異文化コミュニケーション、地域研究・国際協力を専門領域としている。

国際キャリア学部の教員には国際連合、JETRO(日本貿易振興機構)や三菱総合研究所で活躍していた人材を招請。それぞれの海外体験を踏まえた授業を行っている。企業の最前線で働くビジネスマンによる講義も1年次から数多く組まれている。憧れの職場の臨場感あふれる体験談に学生たちは目を輝かせて聴き入っている。

学部独自の留学プログラムを設定しており、アメリカ、イギリス、中国など9か国・地域16大学と提携、4～10か月の長期、5週間の短期留学ができる。いずれも期間に応じた単位互換ができるため、通常の在籍期間で卒業が可能だ。2016年度は2年生の62%にあたる79人が留学、留学中も英文レポートを提出させるなど、英語力育成に力を注いでいる。

国際キャリア学科では国内だけでなく海外インターンシップも充実している。2016年度は、韓国・アジアナ航空、カナダ・シンガポールのHIS支店など7か国で実施した。現場の空気に触れ、若手社員に求められるものは何かをしっかりと吸収、「社会人の顔になって帰ってくる」という。



経産省等による グランプリの上位常連に 高就職率の要因にも

「キャリア開発教育センター」による教学支援は、高い就職率を支えている。センターは単に、就職に向けた職業教育ではなく、将来に向けて4年間をどう勉強す

るかを方向付ける人間形成の手段と位置付けられている。

特に力を注ぐのが学生の表現力向上。1年生130人が12チームに分かれて行うディベート大会では、3、4年生が指導する。何代にもわたって先輩たちが培ったプレゼンテーションのノウハウが、後輩たちに受け継がれ磨かれていく。また地域の協力によって、年配者との意見交換会もあり、世代間のコミュニケーション能力も磨いている。

人的・知的資源の交流と活用を図り、教育・研究分野において社会の発展と教養豊かな国際人材育成を目的として日本航空と包括的連携協定を2015年に締結。学生の提案によって、9月に研修「空飛びわくわく塾」が実施される予定だ。

経済産業省などが行っている「社会人基礎力育成グランプリ」では、人文学部現代文化学科(浮田ゼミ)が2012年大賞、2015年準大賞など上位常連となっている。

就職支援では、各人の志望と適性に合わせた指導で高い就職率を維持しており、2016年度の求人は2544件、インターンシップ参加者は130人、1年間に行われた模擬面接は486回に及んでいる。



8つのセンターが連携 多数の免許状取得実績

学内には英語教育研究センター、国際交流センター、子ども発達センターなど各分野で専門的な研究を行う8つの支援センターがあり、大学各学部や短期大学部と連携を取りながら教育に当たっている。

例えば英語教育研究センターは、大学英語必修科目及び国際キャリア学部以外の大学選択科目を担当。選択科目の年間履修者は延べ1000人を超える。子ども発達関係では、2016年度に幼稚園教諭97人、保育士99人、小学校教諭37人が免許状を取得した。

column

充実した留学プログラム 広い視野を得る貴重な体験



国際キャリア学部
4年生

昨年8月から12月まで、フィリピン・バギオ大学に留学して、犯罪司法や警察行政について学びました。中東、北アフリカの地域研究を専攻していたのでテロに関心があり、海外での犯罪やテロ対策、警察について勉強したいと思ったのが動機でした。授業で一番考えさせられたのが、フィリピン女性の売春問題でした。身売りする女性が東南アジアで一番多く、その多くが最終的に日本に入国していると学びました。フィリピンの貧困問題と日本が、こんなことでつながっているとは考えてもいませんでした。私個人で解決できなくても、現実をしっかりと見つめようと思いました。

実体験にまさるものはありません。留学で得られた経験や知識、感覚を基にその国の現状や考え方に敬意を払い、行動することが大切だと改めて感じています。福岡女学院大学の充実した留学プログラムは、広い視野と問題意識を養うのに大変役立つと思います。



新しい時代へ 進化を続ける。 福岡女学院

MISSION

愛と、平和と、未来は、
私たちの、変わることのないミッションです。



OPEN CAMPUS

2017
8/5 SAT 10:00～
8/6 SUN 16:00



- 模擬授業
- 進学相談コーナー
- 留学相談コーナー
- 学科紹介ブース
- 奨学金相談コーナー
- キャンパスツアー
- 在学生との懇談
- エアライン講座
- 進路相談コーナー
- チャペル体験 など

●福岡県をはじめ九州各県・山口県から●

無料送迎バス運行! 予約制

詳しくは特設サイトへ
<http://www.fukujo.ac.jp/university/oc2017/>



◆ミニオープンキャンパス日程(各日13:00～16:00) 7/23(日)、8/27(日)、9/24(日)



福岡女学院大学・福岡女学院大学短期大学部

〔人文学部〕現代文化学科／言語芸術学科／メディア・コミュニケーション学科 〔人間関係学部〕心理学科／子ども発達学科
〔国際キャリア学部〕国際英語学科／国際キャリア学科 〔短期大学部〕英語科

〒811-1313 福岡県福岡市南区日佐3丁目42-1 [Tel]092-575-2970(入試広報課) [URL]<https://www.fukujo.ac.jp/university/>